

(別紙)

令和6年度(令和5年度からの繰越分)障害福祉分野のロボット等導入支援事業 (施設等に対する導入支援分) 事業報告書

※導入機器ごとの効果や目的等を把握するため、導入機器ごとにそれぞれ作成をしてください。(一体的に利用している機器を除く)

自治体名 神奈川県

【基本情報】

フリガナ	シャカイフクシホウジン ソンカイ
法人名	社会福祉法人 素心会
フリガナ	ソンカウケン
事業所名	素心学院
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)	障害者支援施設
職員数(常勤換算数)【「従事者の1ヶ月の勤務時間」/「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育休、休職は除く)】	27.7人

(1) 主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別: 移乗介護 排泄支援 入浴支援
 移動支援 見守り・コミュニケーション

機器名(導入台数) 【品名】クルフト 【品番】RA-5800-S(1台)

(2) ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間 (G×D/A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)				
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	3人	620件	7,440件	10分	3,720人時間	413時間
	2 排泄介助・支援			0件		0人時間	#DIV/0!
	3 生活自立支援(※1)			0件		0人時間	#DIV/0!
	4 行動上の問題への対応(※2)			0件		0人時間	#DIV/0!
	5 その他の直接介護			0件		0人時間	#DIV/0!
間接業務	6 巡回・移動			0件		0人時間	#DIV/0!
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0件		0人時間	#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認			0件		0人時間	#DIV/0!
	9 その他の間接業務			0件		0人時間	#DIV/0!
		620件	7,440件	10分	3,720人時間	#DIV/0!	

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援

※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等

※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>B.ひと月当たり発生件数の算出方法

介護用入浴リフト導入寮所属利用者数10人×2回(浴槽に入る時・浴槽から出るとき)×31日(1カ月)=620件

<※2>D.1件当たりの平均処理時間の算出方法

風呂場の洗い場から職員が手すり、階段を利用して浴槽に座るまで人力で利用者を誘導する時間の平均値(利用者1人に対し職員2名対応)

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間 (G×D/A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)				
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	3人	620件	7,440件	8分	2,976人時間	331時間
	2 排泄介助・支援			0件		0人時間	#DIV/0!
	3 生活自立支援(※1)			0件		0人時間	#DIV/0!
	4 行動上の問題への対応(※2)			0件		0人時間	#DIV/0!
	5 その他の直接介護			0件		0人時間	#DIV/0!
間接業務	6 巡回・移動			0件		0人時間	#DIV/0!
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0件		0人時間	#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認			0件		0人時間	#DIV/0!
	9 その他の間接業務			0件		0人時間	#DIV/0!
		620件	7,440件	8分	2,976人時間	#DIV/0!	

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>B.ひと月当たり発生件数の算出方法

介護用入浴リフト導入寮所属利用者数10人×2回(浴槽に入る時・浴槽から出るとき)×31日(1カ月)=620件

<※4>D.1件当たりの平均処理時間の算出方法

風呂場の洗い場から介護用リフトを利用して浴槽に座るまで利用者誘導する時間の平均値(利用者1人に対し介護用リフトの搬送車に移乗する際だけ職員2名対応)

年間業務時間数想定削減率(%)

20.0%

(3) 削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

浴槽へ利用者を誘導中、滑って転ばないように気を付けて誘導する必要がなくなった。また座位を保つことが不安定な方もいてその場合は手すりをしっかり持って座位が安定するまで見守りをする時間も余裕にかかっていた。介護用リフトを導入したことで誘導時間がシンプルに約20%削減した。

(4) ロボット機器等の導入により得られた効果

・浴槽へ誘導中転倒するリスクの軽減。・職員の身体的負担の軽減。・誘導に係る時間が減ったことによる利用者の入浴時間の確保(減った分ゆつくり体を温めて入ることができる)。

(5) 今後の課題

高齢化・重度化が進んでいる障害者支援の現場で働いている支援員の身体的な負担が減少したことは大きな成果がありましたが、施設全体の高齢化がさらに進み介護用リフトを使用しない入浴出来ない利用者が増えてくると今の入浴時間・設備では対応出来なくなる時代が来るかもしれません。労働人口が減少しているなか、当然福祉業界の担い手不足も加速的に進んでいるように感じています。如何に人手不足を解消していくのか、ロボット機器等の導入や特定技能実習制度等複合的な解決策を模索していかなければならないと考えています。

(6) 気づき等について

本件に関連して様々な研修に参加させていただきましたが、高齢者施設と比較して障害者支援施設はまだまだICT等導入実績が遅れているように感じました。障害福祉の歴史が浅く、利用者の重度・高齢化の状況も施設によってまちまちであることも業界全体で気運が高まらない要因の一つなのかもしれません。ただ確実に人手不足や利用者の高齢化等の課題を抱えている施設は増えて来ていると思うので、積極的に国や神奈川県が主催している研修や国際福祉機器展等に参加することでそれぞれが抱えている課題の解決策を考える一歩になるのではないかと気づきを得ました。

(7) 費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の削減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の削減 無

ロボット機器等の導入による費用の削減が「有」の場合、以下を回答すること。

削減額(円/月)	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1) その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

(※2) サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。